

市議会だより



11月定例会のあらまし

～災害復旧対策の経費などの一般会計補正予算案を可決～

令和元年11月22日から12月13日までの22日間にわたって、11月定例会を開催しました。

定例会では、令和元年台風第19号により被害を受けた道路等の復旧に要する経費のほか、教育環境の充実として小中学校校舎のトイレフレッシュ事業に要する経費などの増額を計上した令和元年度一般会計補正予算や、静岡市立こども園条例の一部改正などの議案35件、請願2件を審議し、陳情1件を審査しました。

11月29日、12月2日、3日には、18名の議員が総括質問を行いました(2～3面掲載)。

12月13日の最終日には、12月6日、9日に開催した各常任委員会の審査結果が報告され(4面掲載)、表決の結果、すべての市長提出議案を全会一致または賛成多数で可決しました(5面掲載)。

11月定例会日程

11月22日	本会議(開会)	会期決定、議案上程、説明
11月29日 12月2日、3日	本会議(総括質問)	市政全般について質問 議案上程、説明、質疑 委員会付託
12月6日、9日	常任委員会	議案等審査
12月13日	本会議(閉会)	議案上程、委員長報告 質疑、討論、表決

目次

11月定例会のあらましなど	1面
総括質問	2、3面
主な議案、常任委員長報告	4面
賛否一覧、総合交通政策特別委員会、議員研修会など	5面
高校生との意見交換会、次回定例会のお知らせなど	6面

静岡市のココが聞きたい

総括質問



令和元年11月29日、12月2日、3日の3日間、18人の議員が総括質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。



清水庁舎を移転する場合の基礎杭の扱い

質問者 風間 重樹 (創生静岡)

清水庁舎基礎部分の杭の設置状況は。既存の杭を残置する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)上、問題があると思うが、どのようなものか。

答弁 現清水庁舎の基礎部分には、場所打ちコンクリート杭133本を設置している。杭の太さは直径1mから2m、長さは高層棟の基礎下に約15m、低層棟の基礎下に約25mで、杭同士の間隔は南北方向が約7m、東西方向が約6mである。

既存の杭を残置する場合、杭に一定の利用価値があり、廃棄物と判断されない場合は、廃棄物処理法の適用は受けないが、不用となった杭を廃棄物としてそのまま地中に残置する行為は、法の適用を受けることとなる。

清水庁舎移転計画の見直し予定

質問者 内田 隆典 (共産党)

清水庁舎の移転計画について、①庁舎解体費用の増加、②市民の理解が得られていない、③静岡市自治基本条例の趣旨からかけ離れた行政運営、④緊急防災・減災事業債活用の検討不十分、といった状況にあると思われるが、計画を白紙に戻すべきではないか。

答弁 新清水庁舎の整備に関しては、有識者や市民委員で組織する新清水庁舎建設検討委員会での議論と、様々な手法で繰り返し行った市民意見の聴取を経て基本構想・基本計画を策定し、事業を推進してきた。

そして、令和元年9月定例会において、新清水庁舎整備に係る事業予算、及び静岡市区の設置等に関する条例等の一部改正について議決された。

このようなことから、庁舎移転計画を見直す予定はない。

AI(人工知能)を活用した静岡型災害時総合情報サイトの構築

質問者 島 直也 (自民党)

災害時の情報収集と発信における課題は何か。解決に向けてどのように進めていくか。

答弁 災害時、市のホームページはアクセスが煩雑で必要な情報にたどり着くことが困難であるという課題がある。その解決のため、情報を一元的に、容易に収集できるサイトの構築が必要となる。災害時に寄せられる情報の真偽を判断しながらのサイトの更新には困難が伴うため、先進技術を研究し、情報の整理集約にAIの導入を検討していく。こうした高度なデータ処理を実現するため、3段階でシステム構築を進める。①情報への玄関口となるポータルサイトの令和2年6月までの公開。②2年度末までに整備する、情報を即時かつ一元的に集約・管理する災害情報共有システムとの連動。③シンプルな操作で誰もが使える静岡型災害時総合情報サイトの構築。

河川の決壊・浸水対策と安倍川の現状

質問者 寺尾 昭 (共産党)

令和元年台風第19号による他県での河川堤防の決壊を踏まえ、市街地における安倍川の決壊・浸水対策の現状はどうなっているか。

答弁 安倍川の市街地を流れる区間の管理者である国土交通省は、50年に一回発生すると想定されている降雨を安全に流すことを目標とした河川整備計画に基づく河川改修に加え、「防災・減災・国土強靱化の3か年緊急対策」に基づき、安倍川の堤防の強化、河道の掘削、樹木の伐採等を進めており、本市では着実に整備が進むよう、予算確保に向けた要望活動を行っている。

また、国・県とともに静岡地域大規模氾濫減災協議会を組織し、減災対策を一丸となって進める中で、安倍川の決壊を想定した市内13か所の陸間操作訓練等に建設業協会等と連携して取り組んでいる。

語句説明

緊急防災・減災事業債

東日本大震災を教訓として、緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災、減災等のための事業のうち、住民の避難、行政・社会機能の維持及び災害に強いまちづくりに資する事業を対象とする令和2年度までの地方債。

語句説明

陸間(りっこう、りくこう)

漁港、海岸への出入口や河川沿いの道路上に設けられている、堤防の役割を果たす開閉可能な門扉。通常時は車両や人の通行のために開いているが、河川の増水時や高潮、津波に備える際に閉鎖する。

官民連携の推進

質問者 佐藤 成子 (志政会)

静岡市におけるPPP/PFI地域プラットフォームの取組はどのようなものか。また、今後どのように事業展開していくのか。

答弁 本市では平成29年度以降、本格実施に向け準備を行い、令和元年7月に本市が代表者となり「静岡市PPP/PFI地域プラットフォーム」を初めて開催した。本プラットフォームには、多くの県内自治体職員と民間事業者が参加し、延べ9回、勉強会や民間活力導入を検討する事業の提示、個別対話といった取組を実施してきた。これまで21件の事業を提示し、進捗に合わせた対話を実施することで、各事業が着実に進んできている。

今後も、行政から魅力ある事業を提示するとともに、参加者のニーズを捉え、より多くの民間事業者の参加を促し、官民双方にとって有益な場となるよう進めていく。

語句説明

PPP/PFI地域プラットフォーム

地域の企業、金融機関、地方公共団体等が集まり、行政から民間活力の導入を想定している事業を提示し、参画を検討している民間事業者との対話を通じて、事業への民間活力の導入を促すための場。

語句説明

パートナーシップ制度

互いを人生のパートナーとして協力し合う二人の関係を確立し、証書を発行する制度。

LGBT

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、それぞれの英語の頭文字をとった性的少数者の総称の一つ。

パートナーシップ制度の導入に向けて

質問者 山梨 渉 (公明党)

パートナーシップ制度導入の検討状況を踏まえ、LGBTの皆さんに優しい共生のまちづくりについて市長の思いはどうか。

答弁 LGBTの皆さんと話す機会を通じ、性の多様性への理解促進は不可欠との思いを強くし、令和元年度から次の二つの視点で取組を始めた。①理解促進のため、全ての市職員向け研修の実施と窓口対応ガイドラインの策定や高校生との協働による市民向けパンフレットの制作。②当事者の生きづらさを解消するため、県内初の取組となる電話相談や安心して交流できる居場所づくり。

今後は、性的少数者のカップルが様々な場面で制度やサービスが適用されない状況を解消するため、市民の皆さんや企業の理解を促進し、パートナーシップ制度の導入に向け、安心して生活できる環境づくりを進めていく。

気候変動に対する取組

質問者 松谷 清 (緑の党)

気候変動対策として、気候非常事態宣言やカーボンニュートラル宣言をすべきではないか。また、2030年までに温室効果ガス排出量45%削減を目標に掲げる考えはあるか。

答弁 本市としては、気候非常事態宣言やカーボンニュートラル宣言をするよりも、第2次静岡市地球温暖化対策実行計画に掲げた目標達成に向け、実現性を担保した施策の着実な実行が肝要と考えている。

また、同計画では、国が国連に提出した目標値との整合を図った上で、2013年度と比較し2030年度までに26%削減することを目標としており、この目標達成に向け着実に取り組むことが重要と認識している。

語句説明

気候非常事態宣言

国や自治体、学校、企業などが、近年の気候変動が危機的な状態にあることを認め、その状態を広く周知していくことや、温室効果ガス排出量実質ゼロに自らが取り組んでいくことなどを内容とするもの。

カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。再生可能エネルギー導入のほか、他者が削減した排出量を金銭で売買する「排出権取引による環境価値の買取り」等により、人間活動による二酸化炭素排出量を相殺すること等をいう。

語句説明

先天性風しん症候群

風しんに対して免疫のない女性が、特に妊娠初期に罹患した場合に出生児に引き起こされる障がい。先天性心疾患、難聴及び白内障が三大症状と見なされている。

風しん対策における抗体検査や予防接種のクーポン券利用促進

質問者 長島 強 (公明党)

先天性風しん症候群の発生を予防するため、風しんの免疫が十分にないとされる年代の男性に向けて、抗体検査と予防接種の無料クーポン券を送付したにもかかわらず、利用が進んでいない現状に対し、クーポン券の利用促進に向け、どのような取組をしているか。

答弁 平成31年3月に40歳から47歳の男性へ無料クーポン券を送付した。これまで、制度周知のため、医療機関への啓発ポスターの掲示依頼、母子手帳交付時や各区戸籍住民課の窓口でのチラシの配布等を行った。また、クーポン券の利用促進のため、保健所での月1回の夜間検査を実施している。今後も、これらを継続するとともに、企業に対し事業所健診の際に対象者が抗体検査を受けるよう働きかけを依頼するなど、受検率の向上に努めていく。

保育所等における待機児童対策

質問者 稲葉 寛之 (志政会)

保育所等の待機児童対策について、これまでどのように進めてきたのか。

また、今後どのように進めていくのか。

答弁 子どもを産み育てやすいまちの実現に向け、子育て支援施策の中でも特に保育所等の待機児童の解消を進めてきた。

この対策にあたり、主に四つの取組により必要な保育定員の確保に努めてきた。

①全ての市立幼稚園と保育所を認定こども園へ移行、②私立保育所等への定員増の働き掛け、③私立幼稚園への認定こども園移行の働き掛け、④保育定員が不足する地域への民間事業者による施設の新設である。

今後も保育の需要と供給の地域的なバランスを考慮しながら、保育所等の定員増や認定こども園への移行、施設の新設を進めることにより、待機児童ゼロを継続していく。

語句説明

海洋産業クラスター

海洋・水産関連産業における新事業創出を目指した研究開発、人材育成等を実施することで、次々と新たなビジネスが生まれ、情報が集まり、それが新たな企業・研究機関・人材を呼び込み、次の研究開発・事業化につながっていくという好循環を生み出す事業環境。

6次産業

1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。

折戸湾地区の既存産業と賑わい開発の共存

質問者 堀 努 (自民党)

折戸湾の再開発に関し、静岡経済同友会を主体とした組織で折戸湾活性化事業基本計画がまとめられているが、清水みなとまちづくりグランドデザインでは臨海部の産業と賑わいの共存をどう図るべきと考えているか。

答弁 同基本計画の理念は、グランドデザインで示す方向性と一致しており、折戸湾地区のまちづくりを具体化していく推進力になると期待している。また、グランドデザインで描く20年後の清水の産業展望は、観光・海洋レジャーなど新たな産業が立地する一方で、水産加工業や物流、造船業など歴史ある地場産業が持続し、発展する姿を目指している。今後、臨海部などで発生した低未利用地は、段階的に市民に開かれた土地利用を図っていく。これらを通して、臨海部の産業と賑わいの共存を実現していく。

語句説明

清水みなとまちづくりグランドデザイン

市と県、港湾関連企業や商工会議所で構成される清水みなとまちづくり公民連携協議会が、令和元年7月に策定した清水港エリアの20年後の将来像。

語句説明

MaaS (マース)

Mobility as a Service (モビリティ アズ サービス) の略。出発地から目的地まで、利用者にとっての最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他のサービスを含め、一括して提供するサービス。利用者はスマートフォンのアプリを用いて、交通手段の検索から予約・決済までできるようになり、さらには、病院や飲食店などの予約・決済もワンストップで行えるようになるもの。

小規模企業の経営課題解決の取組

質問者 杉本 護 (共産党)

静岡市中小企業・小規模企業振興条例が平成31年4月に施行されたが、小規模企業の経営課題解決に向け、どう取り組んでいるか。

答弁 小規模企業が事業活動を継続していくためには、企業の成長段階や状況に応じた支援が効果的と考えている。

そこで、創業期から成長期では、窓口相談や専門家派遣による事業計画作成やマーケティング手法の提供などの支援を行っている。

そして、経営の安定期や持続的な発展に向けては、静岡商工会議所と連携し、IT導入による生産性向上支援や後継者マッチング等の事業承継支援を進めている。

また、桜えび不漁に伴う課題に対応するため、資金調達を支援する融資制度や、新商品開発など経営の多角化に対する助成制度を創設するなど、緊急的な支援も進めている。

海洋産業クラスター創造事業の取組と成果

質問者 中山 道晴 (志政会)

海洋産業クラスター創造事業の新事業創出に向けたこれまでの取組と成果は。

答弁 本事業では地域の産学官に国の機関を加えた協議会を中心として研究プロジェクトに取り組んでおり、二つのプロジェクトが事業化に至った。①しらすの缶詰化に国内で初めて成功した「静岡釜揚げしらす缶詰」は、販売目標の6倍となる約4万5千缶を売上げている。②全国初の取組となる「生食可能なトラウトサーモン陸上養殖事業」は、三保サーモンのブランドイメージ確立を目指すとともに、これを用いた三保地区の農産品との6次産業化や新たな水産加工食品の開発など、地元を巻き込んだ事業展開を進めている。

今後も地元の企業や大学の研究成果等を活かした新事業創出を進め、地元での新たな雇用につなげていく。

中央卸売市場の施設機能充実への取組

質問者 安竹 信男 (創生静岡)

少子高齢化、消費者ニーズの多様化、生鮮食品の市場外流通の増加などの影響を受け、市場を経由する物流の割合は減少または横ばい傾向にあるが、今後も市場が消費者に安全・安心な生鮮食品を安定的に届ける役割を果たすため、市場の施設機能の充実をどのように進めていくか。

答弁 平成30年度に策定した静岡市中央卸売市場経営展望では、基本方針の一つに市場の施設機能の充実を掲げており、市場内の仕組みを見直し、施設機能の向上や業務の効率化を図る必要があると考えている。

そのため、市場内の人・もの・情報の流れなどを調査・分析し、ICTの活用等による市場業務の最適化を検討するとともに、必要な施設や設備の規模、概算事業費等を明らかにし、市場の施設機能の充実を図っていく。

野生鳥獣による農作物被害への対策

質問者 尾崎 行雄 (自民党)

野生鳥獣による農作物被害へのこれまでの取組と今後の対策は。

答弁 野生鳥獣被害を防止、抑制する総合的な対策として、農地を柵で囲う「防除」、動物が出没しにくい環境をつくる「棲分け」、加害鳥獣を減らす「捕獲」の三本柱で対策を実施してきた。これにより、過去10年間で農作物の被害額、被害面積とも3分の1以下となったが、未だに大きな被害と認識している。

被害防止効果をさらに上げていくため、2年度からはとりわけ「防除」に力を注ぎ、特に効率的で費用対効果の高い、団体での防護柵設置への補助制度の拡充を行うとともに、鳥獣被害に対する体制の強化を図っていく。

今後も「防除」を中心に「棲分け」「捕獲」をバランスよく実施する静岡型の対策に取り組むことで、被害の防止・抑制に努めていく。

MaaS導入に向けた取組

質問者 石井 孝治 (創生静岡)

MaaSの導入に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答弁 MaaS導入により目指す公共交通の姿を実現するためには、移動の利便性の向上や、移動手段の多様化、利用料金の見える化などにより、公共交通サービスを充実させていくことが必要である。

そこで、11月現在実施しているAI相乗りタクシー実証実験の拡大やシェアサイクルの導入、電動キックボードの実用化に向けた検討を行っている。また、市街地、郊外部、山間部それぞれの地域特性やニーズを踏まえた、最適な移動手段の確保にも取り組んでいく。

このほか、様々な移動手段の乗り継ぎがわかりやすくできるよう、決済方法やデータの連携・活用、サービス提供の運用体制等についても検討を進め、サービス向上を図っていく。

令和2年度中に全中学校へエアコン設置

質問者 加藤 博男 (公明党)

小中学校へのエアコン設置において、国の交付金活用の可否が大きく影響すると考えているが、交付金が活用できない場合でも、中学校へのエアコン設置を令和2年度に確実に実施するのか。

答弁 近年の気候変動により夏の暑さも厳しくなる中、子どもたちが勉強に集中できる環境を提供するため、全ての小中学校へのエアコン設置という方針を平成30年度に決定し、令和元年度中の小学校への設置にめどが立ち、9月定例会で2年度の中学校普通教室へのエアコン設置を改めて表明した。

今後は国の交付金の活用が困難になるおそれはあるが、一気呵成に進めることが重要であるため、財源確保の工夫をしながら、2年度中に全ての中学校への設置を確実に実施したいと考えている。

学校現場における食品ロスへの対応

質問者 山本 彰彦 (公明党)

学校給食の食べ残しは、「配膳される量が多すぎる」「食事時間が短い」なども原因の一つであると考えられるが、学校現場ではこうした食品ロスにどう対応しているのか。

答弁 市では子どもたちに給食を残さず食べてもらえるよう、美味しい給食を作る努力を重ねている。

その上で、各学校でも食べ残しを減らすため、一人ひとり食べられる量に応じて配膳したり、好き嫌いを把握して声掛けをするなど工夫をしている。

また、授業を通して、給食を含めた食事の役割や大切さを学んで残さず食べることへの意識を高めたり、食べ残しなどのごみの処理について学び、子どもたち自身ができることを考えたりしている。

中学校部活動における外部顧問配置の効果

質問者 平井 正樹 (自民党)

中学校の部活動における外部顧問の配置は、教員の負担軽減にどのような効果があると考えられるか。

答弁 外部顧問は、日頃の指導や大会へ参加する生徒の引率を単独で行い、教員の負担を軽減する役割を果たしている。配置により、部活動の指導に不安のある教員の精神的負担の軽減を図るとともに、部活動以外の業務に集中できる教員を増やすことで、生徒指導など時間のかかる困難な問題に組織的かつ計画的に対応するコーディネート体制をつくるなど、学校全体の負担を軽減できると考える。

現場からも、外部顧問の十分な指導力に信頼を寄せる声や、教員が放課後に授業準備等に集中できることを歓迎する声が寄せられており、今後も引き続き新たな外部顧問の養成及び配置の拡大に努めていく。

主な議案 ~11月定例会の議案をピックアップ~

議案第233号 令和元年度静岡市一般会計補正予算(第5号)

静岡市立こども園条例の一部改正を含む議案の一覧、補正予算の概要はこちらからご覧ください



令和元年台風第19号による被害からの復旧

10月12日の台風第19号の豪雨、暴風、高潮により被害を受けた道路等の復旧に要する経費を計上しました。(2,655,978千円)
主な事業は次のとおりです。

事業名	主な概要	金額 (千円)
道路災害復旧事業 (財源:国庫負担金66.7/100、市債)	仙俣線(葵区口仙俣)など122路線186か所 (路肩決壊・法面崩壊の復旧など)	1,091,000
林道災害復旧事業 (財源:県補助金1/2、市債)	林道東俣線(葵区田代)など57路線92か所 (路肩決壊・法面崩壊の復旧など)	924,700
三保松原保全活用事業	浸水被害を受けた三保松原における、 塩害や松の根の露出による松枯れ対策の実施	10,000

被災状況



仙俣線(葵区口仙俣)



林道東俣線(葵区田代)



三保松原(清水区三保)

-Keyword-

補正予算

1年度間に実施する事業の経費や財源を見積もった当初予算に対し、予算編成時に想定できなかった制度改正や災害など不測の事態が生じた場合に年度の途中で変更を行うもの。当初予算、補正予算のいずれも原則として議会の議決を得なければならない。

小中学校校舎トイレフレッシュ事業を加速化

子どもたちが、安心・安全で快適に教育を受けることができる環境を整えるため、小中学校トイレの洋式化、床のドライ化等を実施しています。

今回の補正予算では、改修に係る工事及び次年度工事に向けた設計について、当初予定の学校数を増やすための予算を計上しました。(417,700千円)

主な改修 トイレの洋式化・床のドライ化など

事業名	実施校数		金額 (千円)
	当初予定	現在予定	
小中学校校舎 トイレフレッシュ事業 (財源:国庫補助金1/3、市債)	工事	小学校 5校 → 10校	417,700
		中学校 3校 → 6校	
	設計	小学校 5校 → 20校	
		中学校 3校 → 13校	

小中学校校舎トイレフレッシュ事業の例



常任委員長報告

総務委員会

- *静岡市水防団条例の一部改正について、成年被後見人等であることを理由とする欠格事由を見直し、任命要件を満たせば水防団員として任命できるようになったことから、これをきっかけに団員の確保に力を入れること。
- *会計年度任用職員の給与について、正規職員に準じた改定により適正化が図られることを評価する。令和2年度からの制度導入後も、業務運営や物価上昇に応じた見直しを適切に実施し、円滑な運営に努めること。加えて、職員は、公務の重要性和市民からの期待や信頼を自覚し、誇りと使命感を持って市政の推進に取り組むこと。
- *静岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について、景気動向や消費税増税といった状況を踏まえ、同様の条例改正を提案しない自治体もあることから、賛同しかねるという意見もあった。

企業消防委員会

- *老朽化した水道管路の更新について、工事発注時期の平準化をはじめ、様々な施策を講じ、官民一体となって更新率の向上に努めること。また、ICTを活用した業務の効率化や、水道管を自動で点検するロボット技術等、新技術の活用も検討すること。
- *消防団員の欠格事由から成年被後見人と被保佐人を削除することに伴い、入団した成年被後見人等の本人の能力に合わせた配置が行われるよう、各分団への啓発や理解促進に努めること。
- *消防救急広域化に伴う委託料の増加について、関係市町に丁寧な説明を行うこと。また、引き続き、関係市町との連携のもと広域消防へ尽力すること。

観光文化経済委員会

- *台風第19号によるスポーツ施設の災害復旧事業について、スポーツ施設は利用頻度が高く、市民に有効活用されているので、予防の観点での災害対策にも力を入れること。
- *台風被害にあった農道、林道、漁港は、各産業の生産基盤であるため、迅速かつ適切に復旧を図ること。

厚生委員会

- *病院群輪番制病院設備整備事業費補助金について、最新の医療機器を整備することが高度な医療の提供につながるため、市も的確な予算措置を行い、機器の更新を支援すること。
- *母子生活支援・助産施設入所運営事業について、DV(ドメスティック・バイオレンス)や虐待から救いを求める母子の保護や自立支援を的確に行うこと。
- *静岡看護専門学校空調機整備事業費について、最近の酷暑を考えると、6月頃には暑くなってくるため、できるだけ早く施設を整備すること。

市民環境教育委員会

- *小中学校校舎トイレフレッシュ事業について、予定を早めた取組を評価するとともに、引き続き、トイレの洋式化率100%に向けて取り組み、国庫補助金の認証が受けられるよう、事前に設計を進めておくなど、先を見通して対応すること。
- *トイレの整備順序について、子どもたちが日常的に使う校舎からという考えは理解できるが、体育館や運動場など校舎以外にあるトイレについても、災害時利用の観点等から、スピード感をもって対応すること。
- *教職員住宅建設事業費の繰越明許費の追加は、大川教職員住宅の新築工事における入札不成立によるものとのことだが、事業を進める上で、業者選定が進まないことのないよう、実情を把握するなどの対応をしていくこと。

都市建設委員会

- *非木造住宅・建築物耐震事業費助成について、木造住宅も含め、建築物の耐震対策事業などの周知・啓発活動はしているとのことだが、想定される大災害の被害を軽減するためにも、耐震化を促進する事業をさらに推進すること。
- *河川災害復旧事業について、想定を上回る風水害が発生する可能性が高まっているため、ハード・ソフト両面で土砂災害や浸水被害への対策を行うこと。
- *市が管理する排水ますへの転落に係る損害賠償請求訴訟事件の和解について、同じような事故が起きないように、チェックする人の目を増やすことを考え、地元自治会や工事関係者等の意見も取り入れた道路管理や、きめ細かい道路パトロールの実施により、予防に努めること。

11月定例会提出議案の会派別賛否一覧

11月定例会で審議した市長提出議案35件、請願2件の審議結果は、次のとおりです。
(○=賛成、×=反対)

件名	会派名						議決結果
	自民党	志政会	公明党	創生静岡	共産党	緑の党	
令和元年度静岡市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	×	×	可決
令和元年度静岡市競輪事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市駐車場事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市介護保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市中央卸売市場事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度静岡市下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市立こども園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市心身障害者扶養共済条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市水防団条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市職員の給与に関する条例及び静岡市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
静岡市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市教育職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市立小学校及び中学校の教育職員等の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
損害賠償請求訴訟事件に係る和解について	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結について(主)清水富士宮線(仮称)伊佐布高架橋上部工床版工事)	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結について(富士見小学校北校舎大規模改修・構造保全工事)	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の廃止について(竜南三丁目4号線ほか1路線)	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の変更について(松原町港町一丁目線)	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の認定について(羽鳥七丁目2号線ほか5路線)	○	○	○	○	○	○	可決
当せん金付証券の発売について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市人事委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	同意
静岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について(4件)	○	○	○	○	○	○	同意
子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	×	×	×	×	○	○	不採択
国民健康保険料の引き下げを求める請願	×	×	×	×	○	○	不採択

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(24人)、志政会(7人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、創生静岡(4人)、共産党=日本共産党静岡市議会議員団(3人)、緑の党=緑の党グリーンズジャパン(1人)

議員研修会



市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。

12月11日(水)、拓殖大学商学部准教授の松橋崇史(まつはし たかし)氏を講師に、スポーツを用いたMIC Eの推進等による交流人口拡大の実現に向けた取組の参考とするため、「スポーツの力で地域を変えるソーシャルイノベーションの実践」と題した研修会を開催しました。



市議会のことが5分でわかる! PR動画「静岡市議会ってどんなところ?」



静岡市議会は、市議会の概要を紹介する動画を制作し、YouTube(静岡市広報TV)にて公開しています。ぜひご覧ください。

- 主な構成 ■
- 市民、市役所、市議会との関係
 - 議員定数
 - 議会のスケジュール、定例会の流れ
 - 本会議、委員会
 - 広報
(傍聴、インターネット中継、市議会だより)



URL: https://www.city.shizuoka.lg.jp/281_000157.html

陳情審査結果

1件の陳情が、総務委員会で審査され、審査結果は次のとおりでした。

件名	結果
新清水庁舎建設基本計画を白紙撤回してJR草薙駅南側へ建設する事を提案する陳情	不採択

総合交通政策特別委員会の委員が「AI相乗りタクシー」を体験!

11月26日(火)に総合交通政策特別委員会の委員が、地域コンソーシアム「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト」が実施する「AIによる効率的な相乗りタクシー」の実証実験を体験しました。

委員は、実証実験の内容やスマートフォンによる配車予約方法について担当課から説明を受けた後、実際に市内の各ポイントで配車予約し、静岡庁舎まで乗車しました。

委員が乗車したタクシーの中には、実際に市民の方が途中で相乗りされたものもありました。

今回の実験の中では、運賃が通常の25%割引になるというメリットがある一方で、実証実験ということもあり、スマートフォンによる配車予約の分かりにくさ等の改善が課題でもあるようです。

特別委員会では、引き続き、各地域の実情に合わせた交通体系のあり方を調査・研究していきます。

※MaaS: 3面の語句説明を参照



説明を受ける委員

スマートフォンでの配車予約



タクシーに乗車

義援金

令和元年台風第19号により被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた皆様のご冥福と、早期復旧を謹んでお祈り申し上げます。

静岡市議会では、一日も早く日常の生活に戻れることを願い、義援金30万円(私費)を全国市議会議長会の災害義援金口座に送金しました。

委員長インタビュー

常任委員会・特別委員会の委員長へのインタビューをコミュニティFMラジオ局「FM-Hi!」(76.9MHz)及び「マリパル」(76.3MHz)で放送しています。

2、3月放送分の詳しい日程は市議会ホームページをご覧ください。



高校生との意見交換会

静岡市議会では、市民と議員との距離を縮め、議会に興味を持ってもらうため、また主権者教育の一環として、平成29年度から高校生との意見交換会を行っています。3年目となる令和元年度は市内の高等学校4校と開催しましたので、その様子をご紹介します。



**静岡市立
清水桜が丘高校**
7月30日開催

「清水駅前がさびしい。にぎわい創出、まちの活性化を図ってほしい。」「私たち高校生がSNS等を活用し、静岡市の魅力を積極的に発信していけるといい。」

意見

静岡市立高校
8月5日開催



質問
「農業の後継者不足について、土地の無償化など若者が働きやすくする方法は何かがあるか。」
「自動車に頼らない社会をつくるにはどうしたらよいか。」



**静岡県立
清水南高校**
11月12日開催

バスで三保に来た人に道を尋ねられるので、外国語表記を含む三保のわかりやすいマップを作ってはどうか。

アイデア

**静岡県立
駿河総合高校**
11月21日開催



意見
「生き物とSDGs」というテーマで課題研究を行っているが、ヨーロッパではペットショップで動物を売ることはせず、すべて里親制度。ペットが亡くなるまで面倒を見る体制づくりが必要。」

表紙の写真

「門構え」

由比本陣公園の門から由比正雪の生家である正雪紺屋を望む。この街道を江戸時代の方々は往来していたのかなと、当時を偲びながら、堂々とした門構え越しに狙ってみた。

撮影地 清水区由比 由比本陣公園
撮影者 萩原和幸氏
(日本写真家協会会員)



市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

静岡市議会事務局 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
議会総務課 ☎221-1158
議事課 ☎221-1159
調査法制課 ☎221-1481
(編集元) FAX 251-9213

静岡市議会ホームページアドレス
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html



静岡市議会

検索

次回定例会のお知らせ

2月定例会は、令和2年2月10日から始まります。日程は次のとおりです。

会期39日間

開催日	会議名	場所
2月3日(月)	議会運営委員会	第2委員会室
4日(火)	議案説明会(補正予算案等)	議場
2月10日(月)	本会議 議会運営委員会	議場 第2委員会室
12日(水)	本会議	議場
14日(金)	厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
17日(月)	総務委員会 企業消防委員会 市民環境教育委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
19日(水)	議案説明会(当初予算案等)	議場
21日(金)	議会運営委員会 本会議	第2委員会室 議場
27日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
3月2日(月)	本会議(総括質問)	議場
3日(火)	本会議(総括質問)	議場
4日(水)	本会議(総括質問)	議場
5日(木)	本会議(総括質問)	議場
9日(月)	総務委員会 企業消防委員会 市民環境教育委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
10日(火)	厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
11日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
12日(木)	本会議	議場
18日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
19日(木)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。



本会議 生放送・録画放送

生放送(LIVE)・録画放送(VOD)をご覧ください。

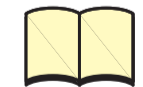


https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000269.html



総括質問ダイジェスト版放送

コミュニティFMラジオ局で放送しています。
「マリンパル」(76.3MHz)
令和2年3月9日(月)～13日(金)
午後8時から9時まで
「FM-Hi!」(76.9MHz)
令和2年3月16日(月)～20日(金)
午後8時から9時まで



市議会だより発行

次号「しずおか市議会だより(令和2年2月定例会号)」は令和2年6月1日発行予定です。